

【全体方針】

荒川クリーンエイドの原点に戻り、これまで以上に荒川のゴミを“調べて拾い”、“学び”、“減らす”機能の強化に注力して、荒川のゴミを減らします。また、調べながら拾う荒川方式の普及を目指し、川ゴミ拾いの全国ネットワーク作りを本格的に始動します。生物多様性の保全などその他の活動については、数年後には地域の団体等が中心となり地域密着型の運営ができるよう徐々に移行し、情報や人の交流など中間支援の役割を担うことにより、流域全体としての活性化を目指します。

1. 荒川クリーンエイドの運営

【事業方針】

荒川の支川も含め流域全体で荒川クリーンエイドを運営する。特に下流部においては、参加者数を拡大し、新たな実施地の開拓に努める。

ゴミを拾うだけでなく、参加者が河川ゴミの環境負荷や発生原因等について学び、日頃からできるだけゴミを生まない生活を実践するような「学び」の支援をこれまで以上に充実させる。

マラソン大会など、荒川河川敷利用者へのコミュニケーションの機会を設けることにより、流域市民・利用者への啓発活動を新たにスタートさせ、ゴミが捨てられない機運をつくっていく。

上記により、荒川のゴミを減らす機能の強化に努める。

【主な計画事項】

① 調べるゴミ拾い

2013 年度も散乱ゴミ、粗大ゴミについて、調べるゴミ拾いを実施する。新たな団体の誘致、新たな実施地の開拓に努める。ふりかえりの方法やツールの開発などを通して、参加者が河川ゴミについて学び、できるだけゴミを生まない生活について考える機会を提供する。

② 特定テーマのゴミ拾い

「荒川ペットボトル大捜索！」及び「マイボトル de ゴミ拾い。」を継続し漂着ゴミの発生抑制を推進する。

③ 実施説明・体験会の開催

9 月に説明会、4, 9, 10 月に体験会を開催し、特に初めて実施する団体や、キャプテン等担当者が交代する団体などには必ず参加いただくよう依頼し、運営方針や実施方法の周知を図る。

④ 主催・共催会場の運営

研修プログラムの開発などの目的で主催共催会場を運営する。

⑤ 活動のサポート

企業などの実施団体の要望に応じて、活動のサポートを行う。

⑥ 荒川利用者キャンペーン<new>

マラソン団体等と連携し、広く荒川利用者等に荒川のゴミの現状などを伝える啓発活動をスタートさせる。

⑦ 報告会の開催

2013 年の活動の成果を共有する報告会を開催する。

2. 生物多様性の保全

【事業方針】

里川創造プロジェクトについては、国土交通省の「荒川下流自然地理管理アダプト制度」の下、クリーンエイド活動を中心に、参加団体が実施する自然地理管理活動を支援する。絶滅危惧種の復活プロジェクトは、地域団体への移行を検討しながら事業を継続する。

【主な計画事項】

① 里川創造プロジェクト

江戸川区小松川自然地理において、「里川小松川自然地理協議会」の構成団体として、地域の団体や企業と協働しながら、クリーンエイド活動、外来種の除草等自然地理の維持管理を進める。また、他セクター連携で持続可能な仕組み創りを進める。荒川下流自然地理管理アダプト制度の下、国土交通省と連携する。

千住桜木地区については、アダプト制度締結を念頭に、企業と連携しクリーンエイドを中心とした活動を行う。

② 絶滅危惧種の復活プロジェクト

荒川河川敷のヒヌマイトトンボ生息地において、個体数や生息環境のモニタリングを行う。来年度以降は地域の団体を中心となり活動できるよう移行を検討する。

3. 環境教育の推進

【事業方針】

学校教育支援は、地域の団体を中心に推進できるよう徐々に移行する。新入社員研修は、基盤強化の手段として、また、若者層へのコミュニケーション機会として積極的に推進する。

【主な計画事項】

① 社員研修支援

2012年度に開発したチームビルディングを取り入れたプログラムを実践するとともに、新たなプログラムを開発し、次年度につなげる。

4. 水質調査の実施

【事業方針】

近年は10年近く荒川の水質が安定してきていることを受け、秋のクリーンエイド時の水質調査は基本的に実施しないこととする。身近な水環境をモニタリングすることは重要であるので、6月の全国一斉調査への参加は継続する。

【主な計画事項】

① 「身近な水環境の全国一斉調査」への参加

荒川本川及びその支川、また、流域各地の川や池などで調査を実施する。調査項目は温度とCOD（低濃度）のみとする。データをとりまとめて全国水環境マップ実行委員会事務局に提出する。また同実行委員会に参加し、調査活動の展開や運営について検討を行う。

5. 流域連携

【事業方針】

荒川流域の諸課題に流域連携で取り組むため、源流・中流域、及び下流域の団体と連携した活動を推進する。

【主な計画事項】

① 荒川源流エコツアーの実施

荒川源流部の恩恵を受けている下流市民が源流の問題を共有できるようなエコツアーを企画し、参加者を募り実施する。源流の自然や文化の魅力に触れると共に、水源林の保全ボランティアに参加、秩父市や地元NPOと意見交換、交流を行う。

② 荒川流域再生プロジェクトへの参加

NPO法人荒川流域ネットワークを中心に開催する「荒川流域再生シンポジウム」を共催する。同NPO法人が中心に推進する荒川流域再生プロジェクトの活動のうち、夏休みに実施する「アユ遡上支援作戦」に共催参加し、流域連携による「魚の行き交う川作り」を進める。

③ 埼玉県河川環境団体連絡協議会及び川の再生交流会への参加

埼玉県内の河川団体の連合体である埼玉県河川環境団体連絡協議会（埼玉河連）に参加、さらに、埼玉県が主催し同協議会が協力する「川の再生交流会」に参加するなど、引き続き埼玉県内での連携を図る。

④ 荒川自然懇談会を通じた荒川下流河川事務所との協働

当フォーラム役員が多数参加する荒川自然連絡会と荒川下流河川事務所との間で行っている「荒川自然懇談会」を官民協働の場とし、他市民団体と分担して生物のモニタリングに取り組む。

6. 他セクターや全国・世界とつながる活動

【事業方針】

ゴミを拾うだけでなく、参加者が学び、そして日頃からゴミを生まない生活を実践することによりゴミを減らす荒川方式を全国の河川に広げることを目指し、川ゴミ拾いの全国ネットワーク構築を本格的に始動する。

【主な計画事項】

① 一般社団法人 JEAN との協力

世界の海洋ゴミ調査と世界の海ゴミ問題の解決に貢献すべく、荒川クリーンエイドのゴミ調査結果を JEAN に提出する。

② 他河川の団体と協働【調べる川ゴミ拾いのネットワークづくり】

調べるゴミ拾いの全国展開を目指し、他河川でゴミ拾い活動を展開している主な団体との連携を本格的に始動する。実行委員会を開催し、今後の実施方針を検討する。

7. 広報・情報発信

【方針】

ホームページ、ソーシャルネットワークなどを活用しながら、荒川クリーンエイドの活動を発信し、賛同者を増やす。会員や関係者を対象にニュースレター、Eメールニュース、報告集などを発行し、情報や運営方針の共有を図る。また、ゴミを生まない生活の実践を促すパンフレットを作成し、啓発する。

【主な計画事項】

① ホームページ

最新情報や各詳細コンテンツの充実を図るとともに、見やすいページ作りに努める。

② ニュースレター

テーマ性を重視しながら、会員や関係者との情報共有を図るべく、年3回発行する。

③ Eメールニュース

毎月1回の配信を継続する。

④ 報告集

ゴミのデータや活動の成果をコンパクトに集約する。20周年である本年は、20年を振り返り、新たな10年に向かう内容にページを割く。

⑤ ポスター、リーフレット

実施団体が秋のクリーンエイド参加者を募集する支援として作成、配布する。

⑥ 荒川クリーンエイド掲示用パネル <new>

環境やボランティアに関する展示会での掲示を念頭に、荒川クリーンエイドへの参加を促すパネルを作成する。

⑦ 荒川クリーンエイド参加者パンフレット <new>

荒川クリーンエイドの「ふりかえり」時に配布するなど念頭に、参加者が河川ゴミについて学びを深め、ゴミを生まない生活を実践するよう促す啓発パンフレットを作成する。

⑧ ソーシャルメディア

Facebookを活用してタイムリーな話題を提供し、荒川クリーンエイドへの関心を高める。

8. 20周年記念イベント <new>

【方針】

20周年の年として、年間を通じてこれまでの軌跡をふりかえりつつ、新たな10年に向け、活動の目的や目標を改めて共有し活動展開を図る。

【主な計画事項】

① 記念イベントの開催

報告・連絡会と併せ20周年記念イベントを開催する。

② 記念小冊子の発行

20年間の調べるゴミ拾いのデータなどを集約した記念小冊子を発行し、これまで参加された方々への感謝の意を表すとともに、荒川クリーンエイドの活動を広く発信する。

9. 組織運営

【方針】

ファンドレイジング、事務局員の増員、会員等とのコミュニケーションを通し、組織基盤の更なる強化を図る。

【主な計画事項】

○ファンドレイジング（資金調達）

社員研修など自主事業化できるサポートサービスを増やし、自主財源基盤の強化に努める。

○連絡会の開催

連絡会を開催し、次年度の活動計画を立案すると共に、会員団体・関係者等とコミュニケーションを図る。

○事務局体制の強化

年度当初は、1名の専従職員と3名の非専従職員により運営するが、採用活動を通して専従職員1名の増員を念頭に、事務局体制の強化を図る。

2013 年度活動計画の概要一覧(予定)

事業	活動名	実施日・会場
1 荒川クリーンエイド の運営	荒川クリーンエイド 2013	4～12月 (1月～3月は荒川クリーンエイド 2014)
	秋のクリーンエイド	9～12月
	実施説明会・体験会	9月14日(土) 説明会・体験会 (足立区生涯学習センター(予定)) 4月14日(日)、10月20日(日) 体験会 (江戸川区 下平井水辺の楽校)
	共催会場の運営	4月14日(日) 江戸川区下平井水辺の楽校 6月15日(土) 葛飾区四ツ木橋周辺 7月6日(土) 板橋区戸田橋陸上競技場 10月下旬 江戸川区下平井水辺の楽校
	報告会	2月上旬に予定 会場未定
2 生物多様性の保全	里川創造プロジェクト	里川小松川自然地協議会の一員として活動
	絶滅危惧種の復活プロジェクト	4月～9月
3 環境教育	社員研修支援	4・5月に新入社員研修を実施、プログラム開発は 通年。
4 水質調査	身近な水環境の全国一斉調査	6月2日(日)を中心に一斉調査
5 流域連携	荒川源流エコツアー	9月7日(土)・8日(日)
	荒川流域再生プロジェクト	アユ遡上作戦、2月にシンポジウム(予定)
	埼玉川の再生交流会	埼玉県主催イベントに参加。2月頃(予定)
	荒川自然懇談会	随時参加、自然地の生物モニタリング活動
6 他セクターや全国・世 界とつながる活動	一般社団法人 JEAN との連携	荒川クリーンエイドのデータを提出
	調べる川ゴミ拾いのネットワークづくり	実行委員会の開催
7 広報・情報発信	ホームページ、Facebook	随時更新
	Eメールニュース	月1回計12回の発行を予定
	ニュースレター	5,8,1月に発行を予定
	報告集	2月に発行予定
	ポスター・リーフレット	8月に作成予定
	荒川クリーンエイド展示パネル、 パンフレット	5月に作成
8 運 営	第14回定期総会	5月18日(土) 北区 赤羽会館
	理事会・運営委員会	随時開催
	連絡会、20周年記念イベント	2月上旬に実施予定、会場は未定。

以上